

平成21年12月期

中間決算説明会資料



共同PR株式会社

(JASDAQ:2436)

www.kyodo-pr.co.jp



Public Relations

共同PRは、企業や団体がメディアに情報素材を提供し、記事や報道として、社会に認知されるように働きかける活動を、専門家としてサポートします。

Media Relations[®]

PR活動は、マスコミとの良好な関係を基本としています。共同PRがそれをメディア・リレーションズ(MR)と呼び、最重要ポリシーの1つにかかっています。

Web Relations[®]

インターネットユーザーが急激に増大しています。企業が日々発信する情報も、それらの情報サイトに出来る限り多く、タイムリーに、適切な形で掲載させていくことで、戦略的に外部ゲートである入口の拡大を図る必要があります。

Investor Relations

IR活動は、PR活動と連動して初めて、投資家・株主を含むステークホルダーとの良好な関係の構築につながります。私たち共同PRは広報の専門家として、メディア・リレーションズを軸にしたPR活動を通じてIR活動をサポートします。

共同PRの業績

The financial highlight of KYODO PR



今期のトピックス(1)

● 長崎県の県外パブリシティ業務を受託

当年4月に長崎県より県外パブリシティ業務を1年間受託いたしました。地方自治体の広報セクションが、PR会社と年間を通して契約を結ぶのは、長崎県が初めてです。当社は、株式公開後、中央官庁及び地方自治体等の行政機関に対し、当社の持つサービスが採用されるように活動してまいりましたが、長崎県との契約はその成果の一つになります。

また、中国現地法人においても、北九州市、福島県を初め、地方自治体の観光・物産プロモーションイベント等のメディア誘致やパブリシティ活動の受託が増えてきております。



上海で開催された九州観光セミナーの様相



上期のトピックス (2)

● 日本の食材の海外でのPR業務案件が増加

農林水産省が推進する輸出促進事業では毎年10都市ほどで日本パビリオンが運営されており、当社ではこれまで、米国ボストンで開催される「インターナショナル・ボストン・シーフード・ショー (IBSS)」での日本パビリオンを2年連続で受託・運営しており、今年度は、3年連続となるIBSSに加え、中国上海で行なわれる中国最大の食品博覧会の「FHC CHINA2009」での日本パビリオン運営を受託。

当社が運営する日本パビリオンは、PR活動により現地メディアで報道されており、日本の食材の海外での認知拡大に貢献してきています。これに加え、今年度は、海外のTVクルーを招聘し、海外(北米、シンガポール、香港)のTV番組で日本の食材を紹介するTVパブリシティ事業も受託するなど、輸出促進事業へのPR活動の提案数は増加傾向にあります。



NEW ASIAN CUISINE

Home About Contact Us

Taste of Oishii

by Veronica Chan

Having spent a full two days at the [International Boston Seafood Show](#), engorging myself with perhaps one too many raw oysters and smoked salmon samples, my seafood pilgrimage concluded with the Taste of Oishii event sponsored by the Japanese Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries at the Westin Hotel. The tasting featured ten products are poised to be introduced to the United States.



Boston Seafood Show

Matt Stone
Takaki Marui of Japan serves some seafood at Boston's International Seafood Show. Japan's seafood industry dates back thousands of years.



g Posts

Japan Pavilion Tasting Event

Saturday, March 28, 2009

You may or may not know that I'm obsessed with all things Japan. Basically, I am obsessed with the food (sushii!), language, and Japanese culture as a whole. Susan of [Transient Travels](#) is well aware. So when she asked me if I wanted to attend the Japan Pavilion, an event she was doing PR for, I didn't need to be asked twice.

The Japanese Ministry of Agriculture (MAFF), Forestry and Fisheries hosted a tasting event as part of the International Boston Seafood Show. They came to the event to introduce the U.S. seafood industry and



連結損益計算書要約

単位:百万円

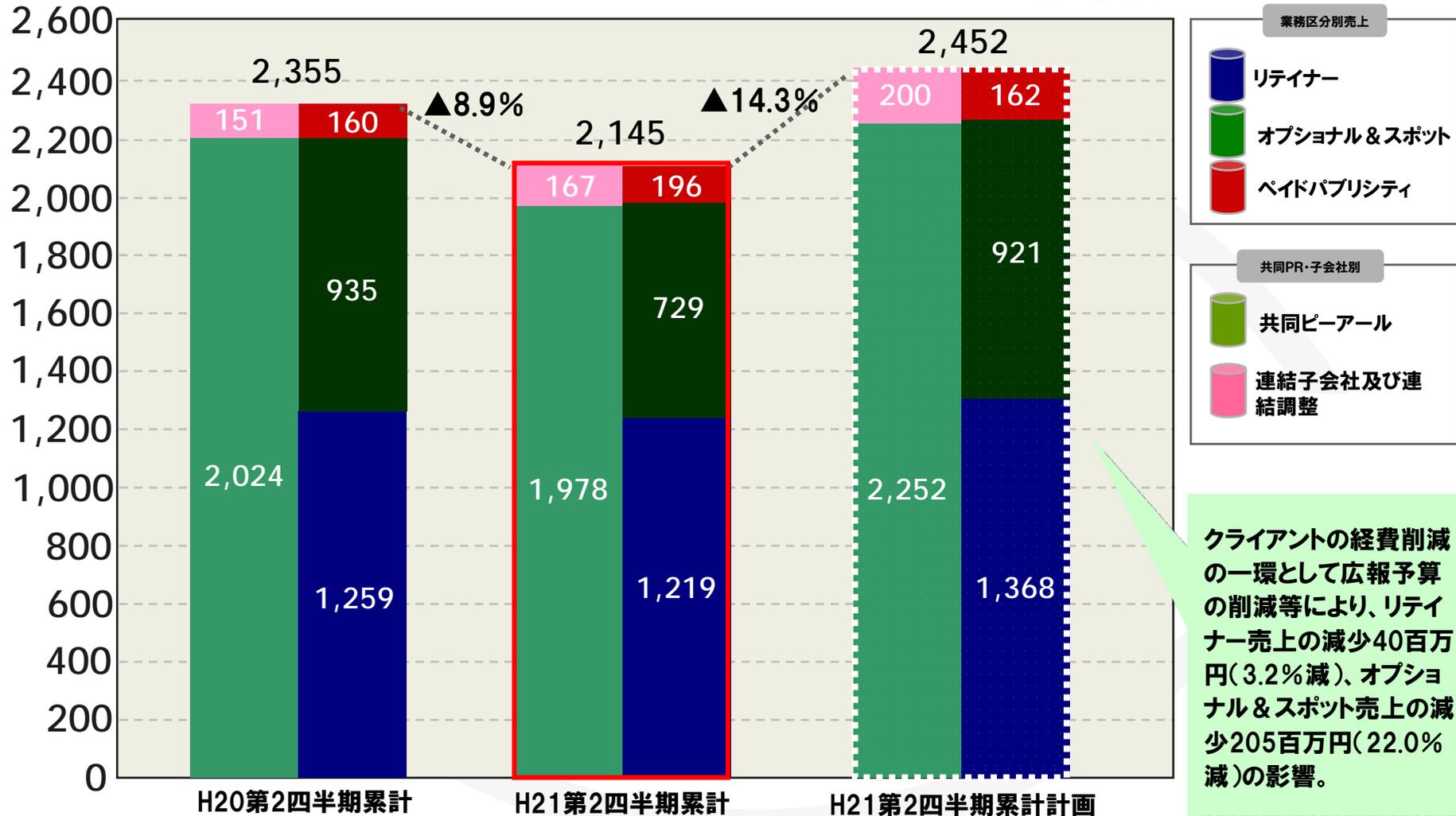
	当第2四半期累計 (構成比)	前第2四半期累計 (構成比)	前年同期間増減 (増減率)	対当初予想*
売上高	2,145 (100%)	2,355 (100%)	△209 (△8.9%)	△307
売上総利益	1,359 (63.4%)	1,409 (59.8%)	△49 (△3.5%)	△176
販売・管理費	1,495 (69.7%)	1,406 (59.7%)	89 (6.3%)	△49
営業損益 (△は損失)	△135 (△6.3%)	2 (△0.1%)	△138 (-)	△127
経常損益 (△は損失)	△134 (△6.3%)	1 (△0.1%)	△136 (-)	△125
四半期純損益 (△は損失)	△142 (△6.7%)	△22 (△1.0%)	△120 (-)	△123

人件費は当初予想に対し、31百万円の減少

*予想は平成21年3月10日付「平成21年12月期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表したものです。

第2四半期連結累計売上高

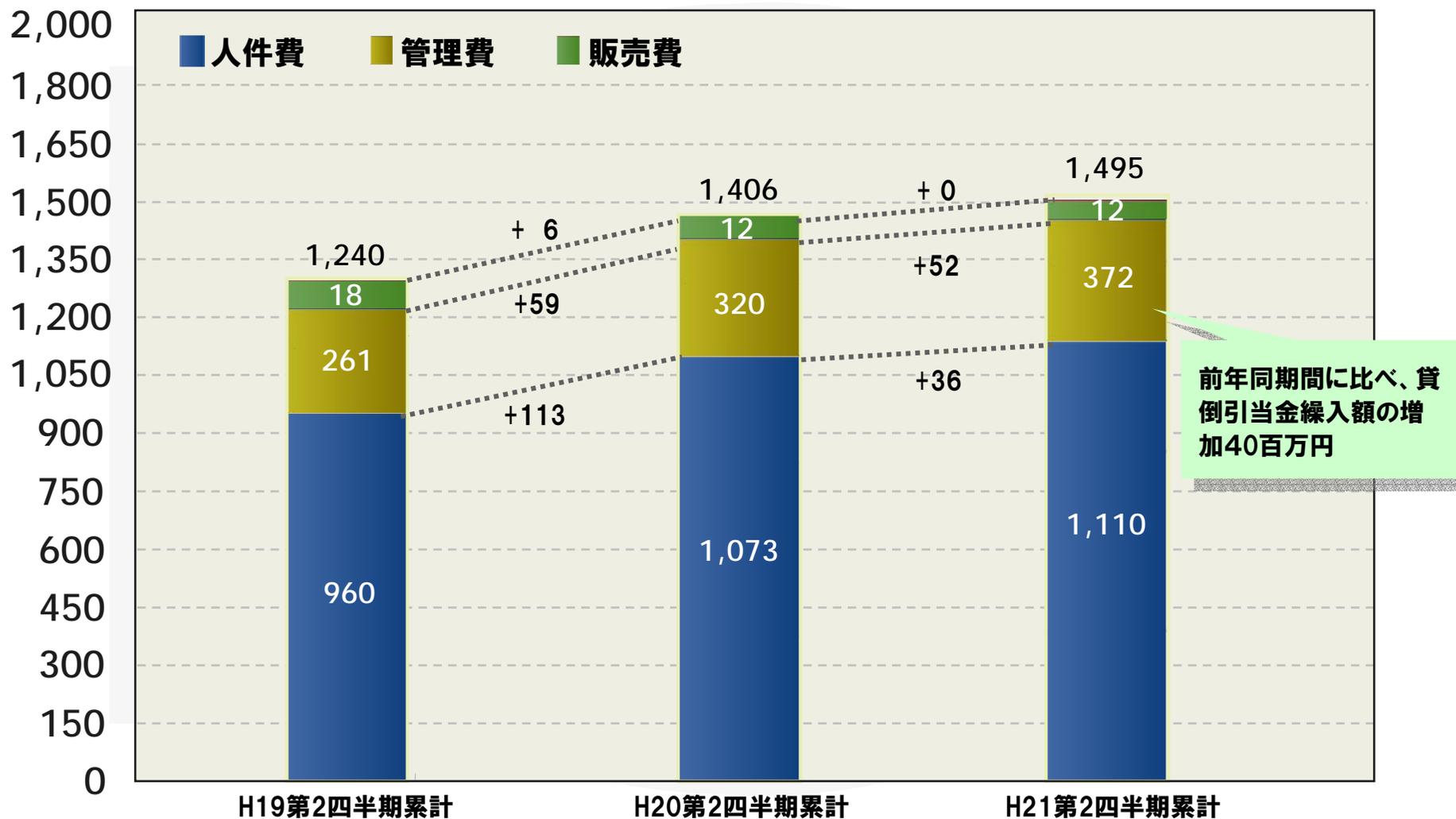
単位：百万円



	H20第2四半期累計	H21第2四半期累計	H21第2四半期累計計画
売上総利益率	59.8%	63.4%	62.6%

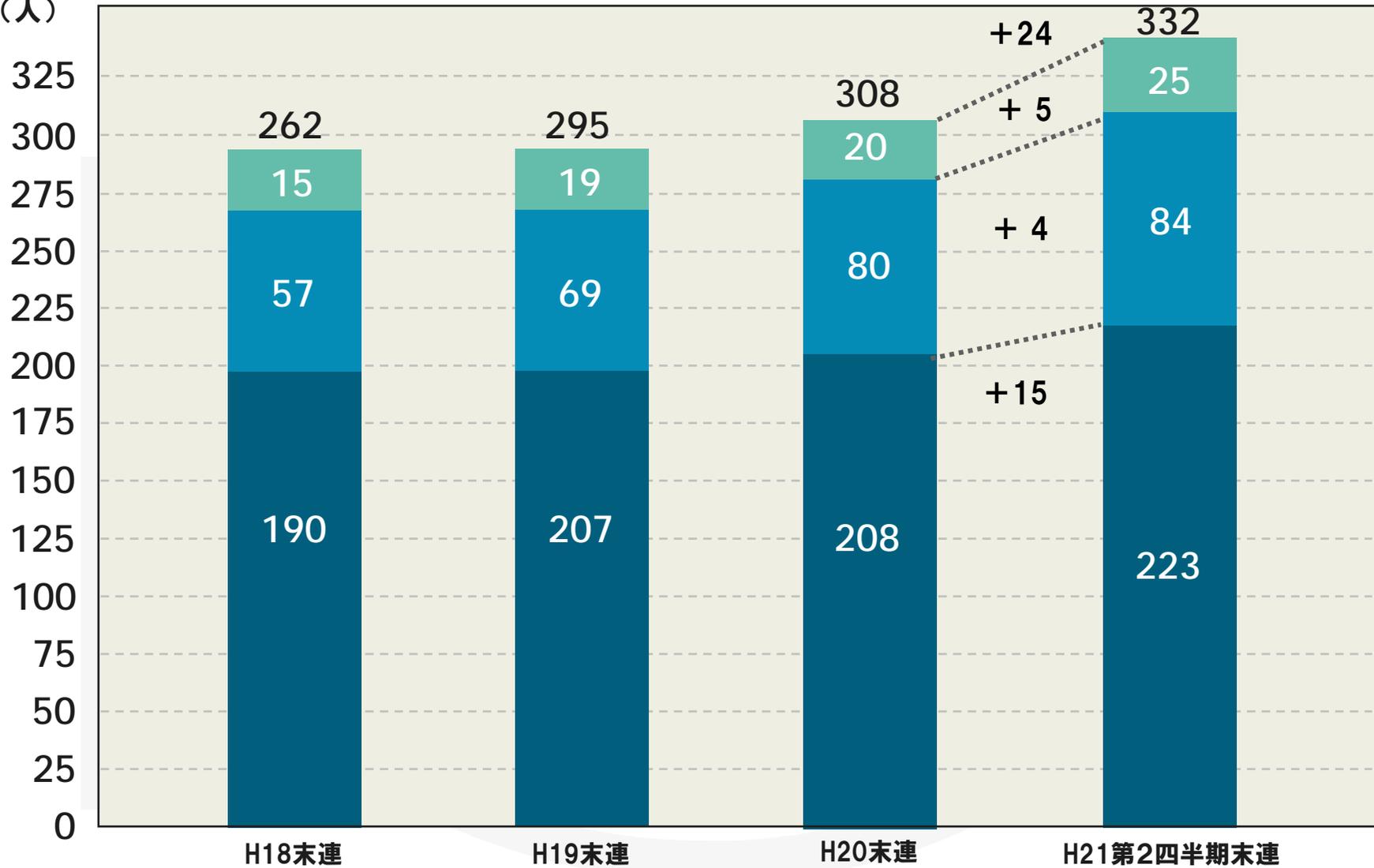
販売費および一般管理費推移

単位：百万円



部門別スタッフ数の推移

(人)



■ 業務局 ■ 開発局 ■ 管理局

(臨時従業員を除く)

連結営業損益・経常損益・四半期純損益

単位：百万円

	当第2四半期累計 (A)	前第2四半期累計 (B)	対前年 (A) - (B)	H21第2四半 期累計計画	対当初予想
営業損益 (▲は損失)	▲135	2	▲138	▲ 8	▲127
経常損益 (▲は損失)	▲134	1	▲136	▲ 9	▲125
四半期純損益 (▲は損失)	▲142	▲ 22	▲120	▲ 19	▲123

【対前年同期間】

当第2四半期累計期間の営業損益は売上高の減少と販売費及び一般管理費における貸倒引当金繰入額の増加から前年に比べ138百万円減少の▲135百万円となる。

また、四半期純損益は、事務所フロアの移設及び増床に伴う固定資産除却損を特別損失に9百万円計上したことから▲142百万円となる。

【対当初予想】

当初の予想売上に対し307百万円(12.5%)の未達に終わったことが、各利益予想を下回った最大の要因。

中国・韓国子会社の業績推移

【共同拓信公関顧問(上海)有限公司】

単位：百万円

	当第2四半期累計 (A)	前第2四半期累計 (B)	対前年 (A) - (B)	当初予想
売上高	36	39	▲ 2	41
営業損益	▲ 14	▲ 27	12	▲ 2
経常損益	▲ 16	▲ 27	11	▲ 2
四半期純損益	▲ 16	▲ 27	11	▲ 2

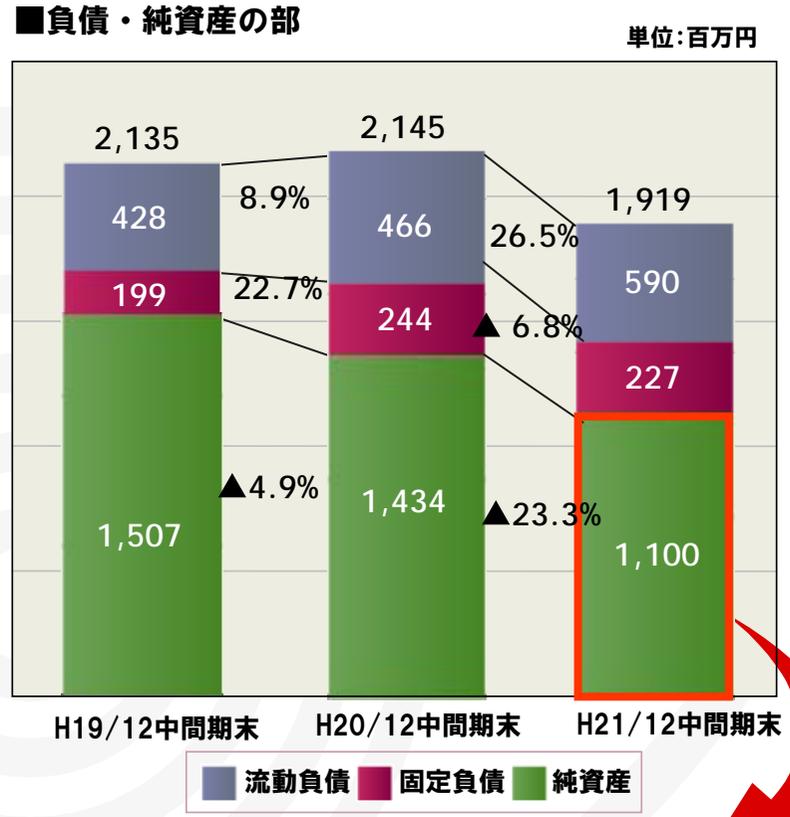
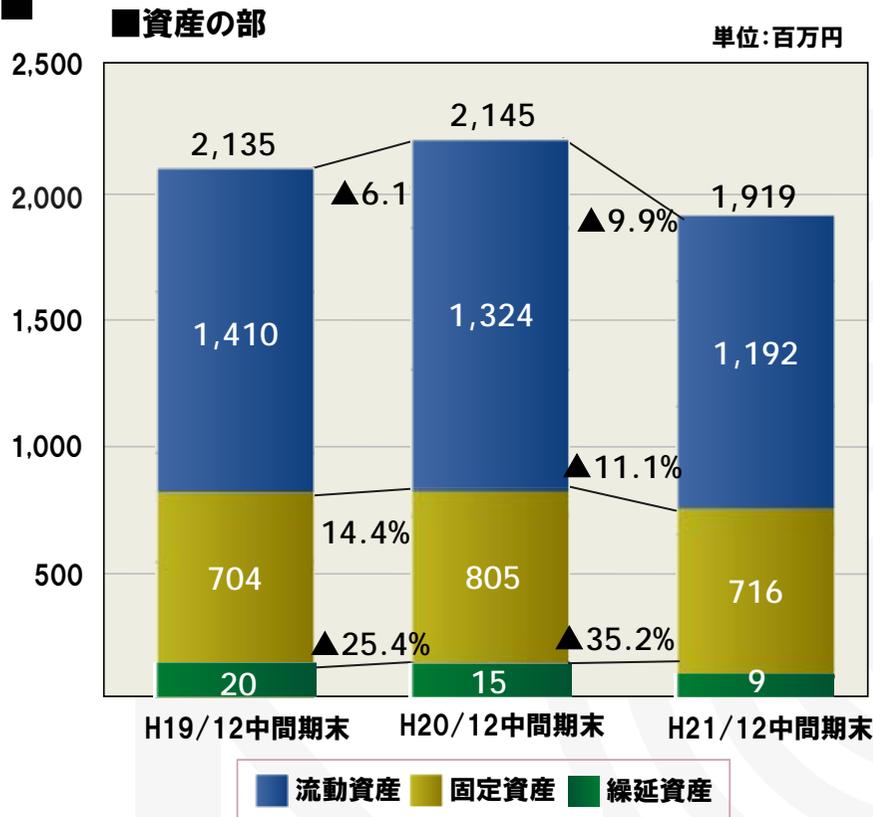
【韓国共同PR(株)】

単位：百万円

	当第2四半期累計 (A)	前第2四半期累計 (B)	対前年 (A) - (B)	当初予想
売上高	22	—	—	41
営業損益	▲ 29	—	—	▲ 17
経常損益	▲ 29	—	—	▲ 18
四半期純損益	▲ 29	—	—	▲ 18

*韓国共同PR(株)は、前期下半期設立

連結財務の状況



	平成19年中間	平成20年中間	平成21年中間	期末比
自己資本比率	70.6%	66.9%	57.4%	▲ 9.5 points

- 総資産は前年同期末と比較して、226百万円減の1,919百万円。
- 流動資産は前年同期末と比較して、受取手形及び売掛金の減少148百万円、貸倒引当金の増加114百万円等により131百万円の減少。
- 流動負債は前年同期末と比較して、短期借入金の増加213百万円等により123百万円の増加。
- 純資産は前年同期末と比較して、利益剰余金の減少308百万円、その他有価証券評価差額金の減少1百万円、及び為替換算調整勘定の減少14百万円等により333百万円の減少。

キャッシュフローの状況

単位：百万円

	前第2四半期末	当第2四半期末	増減	
営業キャッシュフロー	▲111	▲99	12	営業CF増減要因 税前利益 ▲141 売上債権 238 仕入債務 ▲195 たな卸資産 21 法人税 ▲60
投資キャッシュフロー	▲79	▲48	30	投資CF増減要因 固定資産 ▲27 敷金支払 ▲56 敷金返還 37
財務キャッシュフロー	▲39	170	209	財務CF増減要因 短期借入 214 配当金支払 ▲37 自己株式取得 ▲10
現金および現金同等物	388	532	143	
フリーキャッシュフロー	▲190	▲147	43	

通期業績予想

単位：百万円

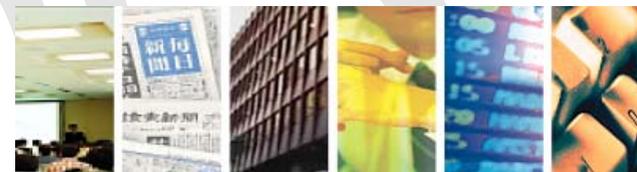
	H20年通期実績 (A)	H21年通期予想 (B)	対前年実績 (B) - (A)
売上高	4,845	4,639	▲205
(リテイナー)	2,598	2,487	▲111
(オプションナル&スポット)	1,845	1,615	▲230
(ペイドパブリシティ)	402	536	134
販売費及び一般管理費	2,899	2,943	44
(うち、人件費)	2,170	2,240	70
営業損益	▲ 34	▲ 90	▲ 55
経常損益	▲ 40	▲ 90	▲ 50
四半期純損益	▲112	▲106	6

本資料の取り扱いについて

- 本資料は弊社の事業及び業界動向について、弊社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は様々なリスクや不確定要素が内在しております。
- 既に知られたもしくは今だに知られていないリスク、不確定要素、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。弊社は将来の展望に対する表明及び予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、更に悪いことも有り得ます。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、本資料作成時点において利用可能な情報に基づいて弊社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

【参考資料】 共同PRの概要

The outline of KYODO PR



会社概要

設 立 年 月 : 1964年11月14日

資 本 金 : 4億1千990万円

代 表 者 : 代表取締役社長 大橋 榮

役 員 数 : 取締役6名、常勤監査役1名、非常勤監査役1名

従 業 員 数 : 284名(単体)、 332名(連結)

他、業務委託顧問 等: 若干名(平成21年6月30日現在)

連 結 売 上 高: 4,845百万円 (平成20年12月31日現在)

連 結 経 常 利 益: ▲40百万円 (平成20年12月31日現在)

連 結 子 会 社 : 共和ピー・アール株式会社、株式会社マンハッタンピープル、
株式会社共同PRメディックス、共同拓信公関顧問(上海)有限公司
韓国共同PR株式会社

海 外 拠 点 : 北京、上海、ソウル、ブリュッセル(ベルギー)、ミュンヘン(ドイツ)

本 社 : 〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22

TEL 03-3571-5171(代表)

ホ ー ム ペ ー ジ : <http://www.kyodo-pr.co.jp/>



ビジネスモデル

“ニュース素材”のメーカー



記事と広告の違いについて

PRは
“Public Relations”
 の略ですが、
 日本では広告との違いが
 うまく認識されていません。



掲載促進
 情報提供

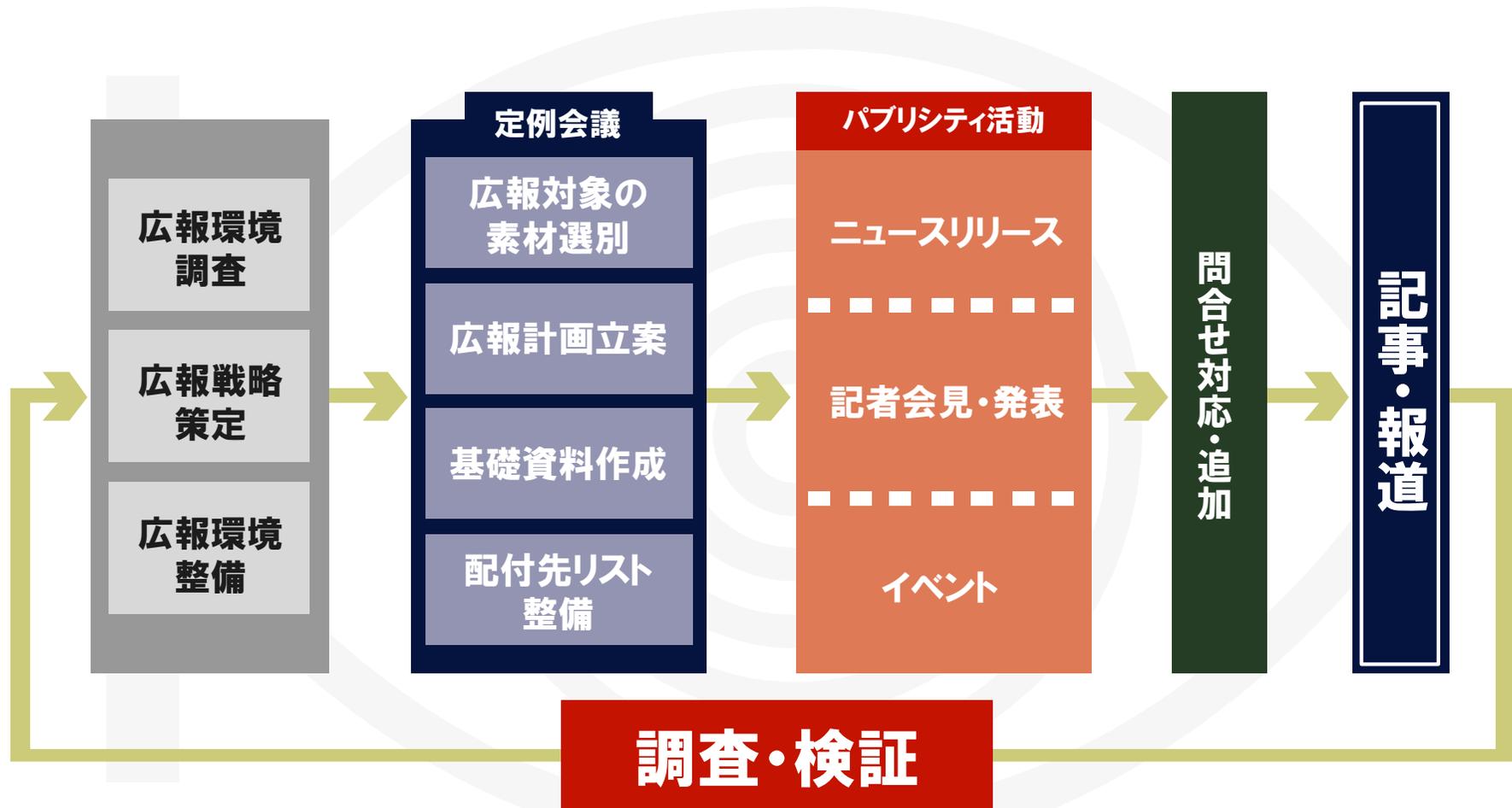


メディアプランニング
 メディアバイイング



	記 事 (パブリシティ)	広告 (アドバイジング)
担当部門	報道局 / 編集局	広告局
掲載面	記事(報道/ニュース、番組内)	広告スペース (CF)
情報発信主体	マスコミ側	広告出稿者
情報の特性	客 観 的	主 観 的
情報内容の基準 (傾向)	事 実	イ メ ー ジ
情報のリピート性	▼ 低	▲ 高
内容の信頼度	▲ 高	▼ 低
費用対効果 (ROI)	▲ 高	▼ 低

パブリシティの全体図（基本業務フロー）

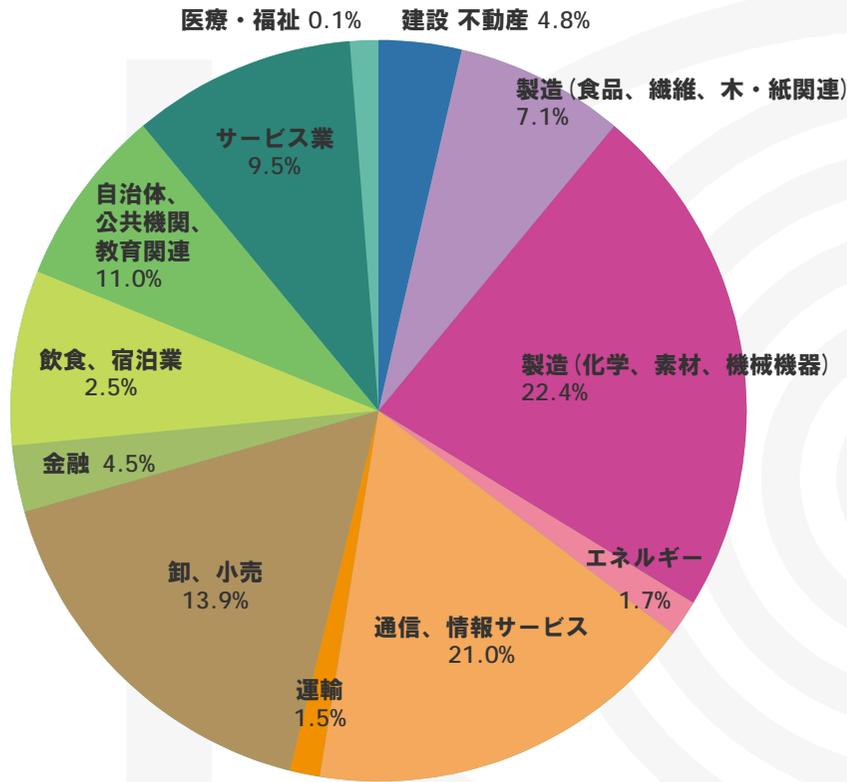


PR事業の業務区分の関係図



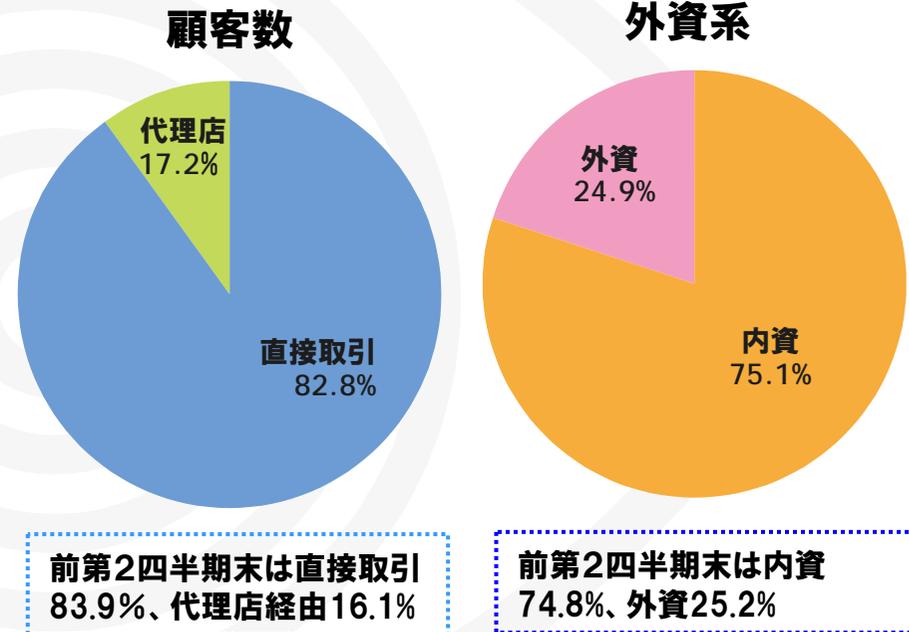
偏りの無いバランスのとれたクライアント構成

＜リテイナー業種別売上構成＞ 平成21年6月末 単体



リテイナー売上構成は安定しており、前年期末と比べリテイナー件数は横ばい状態

＜リテイナー顧客獲得経由と外資系の割合＞ 平成21年6月末 単体



前第2四半期末は直接取引83.9%、代理店経由16.1%

前第2四半期末は内資74.8%、外資25.2%

PR活動のさまざまなシーン



ニュースリリースの作成・発信



記者発表会



社長・人物インタビュー



公募・プレゼントパブリシティ



メディアキャラバン



取材誘致



プレスセミナー

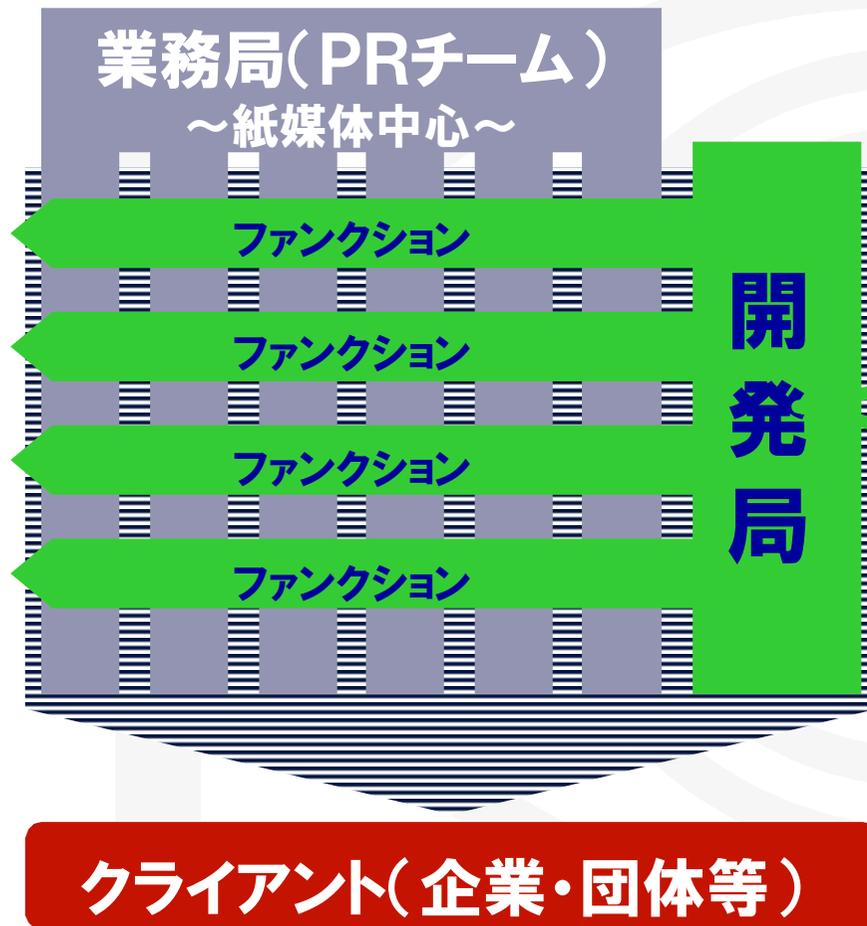


PRイベント



クリッピングモニター その他

開発局の様々な部署とその業務内容



- テレビ事業部 (テレビパブリシティ)
- WEB事業部 (WebPR)
- メディアトレーニング部(メディア・トレーニング)
- 危機管理業務部(危機管理広報)
- フィナンシャルPR部(財務広報及びIPOサポート)
- 海外業務部(海外コミュニケーション支援)
- 海外戦略企画室(外国企業開拓)
- PR企画部(PR企画立案サポート)
- 報道分析部(報道分析)
- 広告SP部(イベント&セールスプロモーション)
- 中国室 (中国でのPR業務支援)
- 開発企画部(官公庁・地方自治体の開発)
- 業務開発部(新規プロジェクト開発)
- 情報セミナー部(外部向けのセミナー開催)
- 金融戦略室(金融に特化したPR)
- 展示会業務部(イベントに特化した業務)
- コーポレートコミュニケーション部(広告タイアップ)
- 映像事業部(映像によるPRサポート)

共同PRの特徴と強み



特徴

1. 国内のPR業界最大手の1つ
2. 長期契約が多く、安定した経営基盤で着実な成長が期待される
3. 偏りの無いバランスのとれたクライアント構成

強み

1. 徹底したメディアリレーションズ（MR）戦略
2. グローバルなオペレーション体制
3. 質の高い総合サービス提供体制

テレビパブリシティ、Web PR、メディア・トレーニング、海外業務、教育、報道分析、セールスプロモーション など

グローバルなオペレーション体制

- 中国(上海)と韓国(ソウル)に現地法人を設立しアジアでのネットワークを強化
- ベルギー、ドイツに欧州クライアント開発拠点
- グローバル・サイトでのマーケティング
- 各世代に英語堪能者を配置

各国のPR会社との関係

- BELGIUM
- CHINA
- DENMARK
- FINLAND
- FRANCE
- GERMANY
- GREECE
- HOLLAND
- IRAN
- IRELAND
- ITALY
- KOREA
- PORTUGAL
- POLAND
- SWEDEN
- SPAIN
- UK
- USA



ご清聴ありがとうございました。

Kyodo Public Relations Co., Ltd.

本資料に関するお問い合わせ先

Info@kyodo-pr.co.jp

03-3571-5172